

フランス GP、ボナコルシがホールショットから 5 位入賞。



満員の観衆で埋め尽くされたヒルサイド。フランス GP でファンティック・ファクトリーレーシングMXGPのアンドレア=ボナコルシは改めてその地力を発揮、初のホールショット獲得から総合 5 位の結果を残した。

フランス・アーニーのレイモンド・デミー・トラックは、長い伝統で知られるフランスGPの会場だ。コースはやや修正されたものの、依然としてテクニカルでチャレンジングなレイアウトで、2025年世界選手権MXGP第9戦の会場にふさわしい造りとなっている。今週は降雨は日曜日の朝だけにとどまり、コンディションはここ数戦のGPよりはだいぶ良好だったもののコースの難しさに変わりはない。だがスタジアム風のレイアウトは全周にわたって観客の注目を集められる、他にない雰囲気のあるレースとなった。ファンティック・ファクトリーレーシングMXGPはしかし今一つペースが合わず、グレン＝コルデンホフは土曜日の予選レースでは9位とわずか1ポイントを稼ぐにとどまった。アンドレア＝ボナコルシとブライアン＝ボガースはそれぞれ12位と13位、トップ10圏内にも入れなかったのである。

だが、重要なのは日曜日。そこで「ボナ」がやってのけたのである。22歳の若きイタリアンは、このクラスフル参戦1年目にして、これまでのレースでもおおむねトップ5で走れる実力を見せてつけてきている。フランスGPでは、ファンティックXXF450をゲートから飛び出させると、レース2では彼自身初のホールショットを獲得。総合5位を獲得したのである。すでにレース1でも強さを見せ、5位争いを終始展開し最終的には6位に入っていたボナコルシは、フランスでもその強さを着実に発揮することに成功したといえるだろう。

チームメイトのコルデンホフは、レース1は1コーナーの混乱に巻き込まれた後のひたすら巻き返しが続くレースとなった。あらん限りの経験とテクニックを振り絞って前を追うコルデンホフは、体調も完ぺきとは言えない中で最終的に10位を獲得。ブライアン＝ボガースはトップ10にたどり着けず、13位でのフィニッシュとなった。

レース2、ファンティック・ファクトリーレーシングMXGPのライダー3人はそろってスタートを決め、ボナコルシが一步抜きん出て彼自身のキャリア初のホールショットを獲得した。ボガースはライン選択をミスし、せっかくのスタートを台無しにしてトップ10から遅れてしまうが、ボガースとコルデンホフはともに5-6位を争う序盤の展開となった。

以前として体調がすぐれないコルデンホフだったが、それでもベストを尽くして戦いきて最終的に9位を確保。ボナコルシは一方でペースをつかむとそこからは誰にも抜かれることなく攻め続け、最終ラップでハーリングスに抜かれての6位に入賞した。ポイントランキングでも5位に位置してきたボナコルシと、このレースを10位でまとめ上げた「ザ・ホフ」、総合13位で終えたボガースの3人は、3週連続のGPシリーズの次戦、ドイツに向けて早くも準備を始めている。

アンドレア＝ボナコルシ：いや、いい週末だったね。土曜日はちょっともがいていたけれど、リスクをとろうとしていなかったっていうのもあったんだ。日曜日、ウォームアップで5位だった調子のままにレースでは両

方6位に入賞した。おまけに最初のホールショット獲得だ。もちろん、この先はもっと多くのホールショットをとっていきさ。大事なのは、チームの雰囲気、リラックスしてスターティングゲートに向かえること、なによりもマシンが最高で、必要なパワーを確実に地面に伝えることができている。こうした全部が、僕自身を大いに成長させてくれているんだ。だから、今の進化には本当に自信を持っているし、この調子で毎戦上を目指していければと願っている。次の目標は、表彰台に上がることだね。もちろん、ファンティックと、このチームのみんなに心からの感謝をささげるよ。

グレン=コルデンホフ：どうにも体調がよくなってね。日曜日の朝起きた時に、なんかおかしかったんだよ。これが特にレース2に出てしまった。いつもなら体調には自信がある方なんだけど、どうにもならなかったんだ。心はもっといける、って叫んでいるのに、身体がついていかないんだ。もちろん、10-9という順位はがっかりだ。僕はそんなところにいるライダーではないからね。でもまずは受け入れて、次に向けてやり直すしかない。ドイツまでには僕自身も体調を整えてきっちり戦えるようにしていきたいね。

ブライアン=ボガス：感覚的には悪くない週末だったんだ。結果こそ思っていたとおりではないけれど、調子はどんどん良くなっている。レース2のスタートはよかったしね。これまで苦しんできたスタートに光が見えたことは大きいね。ライディングもレース2は全体に悪くなかったと思うよ。こうしたポジティブな面をうまく生かして、来週末に向かっていかなくちゃね。

ファンティック・ファクトリーレーシングEMX

EMX250のルーキー、シモーネ=マンチーニのフランスGPは、体調を崩していたこともあって万全とは言えない状態で迎えなくてはならなかった。それでもあらん限りの力を振り絞り、レース1ではファンティックXXF250をうまく発進させてレース序盤は3位を快走。その後2つポジションを落として5位でラインをクロスしたが、スピードとレース運びの巧みさは強い印象を残した。しかし、レース後のペナルティでさらに5つ順位を落とすことになってしまった。

日曜日のレース2、やはり好スタートを見せた17歳のイタリアンは、レース前半を6位でまとめていたが、マシントラブルでリタイヤを喫してしまう。それでも依然としてチャンピオンシップ上は6位につけている。

EMX125クラスにとっては厳しい週末になった。チャンピオンシップはまだ多くのライダーにチャンスがあり、可能性を残しているライダーの一人、ファンティックのフランチェスコ=ベレイは、2位に18ポイント差の4位に位置している。だがフランスGPでは、レース1で16位、レース2ではクラッシュの後マシントラブル

ルでリタイヤに終わってしまった。レース 1 はオープニングラップで 2 度のアクシデントに巻き込まれて最後尾に落ちてからのリカバリーであり、スピードは十分であることこそ示せたものの、ポイント上は厳しい週末となったのである。

ベレイは総合 20 位だが、それが彼の実力というわけではないはずだ。これはチームメイトのドウエ=ファン・メクゲレンについても同様。前週にオランダ選手権 125 ccクラスでチャンピオンを獲得したファン・メクゲレンは計時予選でクラッシュし、膝を強打。だが痛みを押してレースには出走、10-16 位の総合 14 位という結果を持ち帰ることとなった。

フランчесコ=ベレイ: 厳しい週末だった。いい感触を得られないまま、不運にも見舞われてしまったんだ。レース 1 ではほかのライダーが腕の上に降ってきて、トラック上に投げ出されてしまった。最後尾からなんとかレースには復帰したけれど、ギリギリポイントを獲得できたのにとどまったんだ。レース 2 はコースコンディションもいよいよトリッキーで僕はクラッシュしてしまい、マシンを壊してリタイアする羽目になってしまった。でも悪いことばかりじゃないはずだから、しっかり前に向かっていくよ。

ドウエ=ファン・メクゲレン: いい感じでフランス GP に臨んだつもりだったんだけど、難しい週末だったね。計時予選ではひどいクラッシュをしてしまって、痛みと闘いながらのレースだったよ。日曜日は特にマディの中での厳しい戦いで、それでも 14 位に何とか持ち込むことができた、って感じなんだ。

シモーネ=マンチーニ: 正直ベストとはいいがたい状態でこの週末を迎えたから、土曜日はミスをこらえながらも 5 位で終わられたのは悪くなかったとっていいと思う。その後のペナルティはほんと、僕たちにとっては逆風とっていい状態だけど、先週のイタリア選手権での終わりのように良い感じで、次の GP を迎えられようようにしたいね。

